



藤代けんご

まちづくりのプロ／政策アドバイザー

ふじ

しろ

ごあいさつ

未来を ともに創る

39歳

瀬戸幼稚園・六合小学校
印旛中・佐倉高校・早大政経卒

討議資料

私は、この地域で生まれ育ち、その後、社会人生活を経て、地元印西に帰ってきました。

そして、現在は、「人を起点にしたまちづくりの会社」弥治右衛門（やじえもん）合同会社の代表を務めています。社名は藤代家が代々受け継いできた屋号（やごう）です。

「先人が繋（つな）いできたものを、次の世代に素敵な形で繋（つな）ぎたい」そんな思いからこの社名を選びました。

「培った経験を印西のために」

これまで、政府系金融機関では新幹線の輸出などの海外で活躍する日本企業のお手伝い、経営コンサルとして日本企業の経営支援、政策シンクタンク役員として自治体の政策・まちづくり支援などを経験してきました。また、米国留学や香港駐在を通じ、海外から日本や印西市を見つめる機会にも恵まれました。

こうした経験を愛する故郷である印西のまちづくりに活かしたい。そんな思いから、印西市で起業しました。

「地域の未来を“みんな”で創る」

起業以来、幸いにもたくさんの出会いに恵まれてきました。現在は、仲間たちとともに、教育・子育て支援、人と人とのつながりによるまちづくり、ニュータウンと自然・里山の接点づくり、新たな事業づくり（起業・創業支援）、中心市街地の新たなにぎわいづくり、文化・芸術・音楽・スポーツを起点にしたまちづくり、などに取り組んでいます。

しかし、民間の力のみでは限界があることを痛感しました。それは行政の場合も同じです。官と民、両方に向き合ってきた立場から、みなさんを繋ぎ、みなさんとともに地域の今と未来を創る取り組みを進めてまいります。

藤代健吾

教育・子育て

子どもひとりひとりに寄り添う教育、子育てのまちづくり

子どもたちが地域の未来を創る

「教育・子育て世界一」のまちを目指します

子どもの未来 = 地域の未来

子どもの活気 = 地域の活気

教育・子育て政策は、今と未来に向けた活気あるまちづくりに最も重要です。なぜならば、「子どもは地域の宝であり未来」だからです。これからの地域を創っていくのは子どもたちです。子どもたちがいなければ、地域や社会の存続そのものが危うくなってしまいます。

また、子どもが多い地域には活気があります。大人も元気になります。市民の方からも、お祭りやまちなかのイベントなどで子どもたちが笑顔でいる姿を見て、元気をもらおうという声をたくさん聞きます。活気ある素敵な地域をつくるためにも、まずは子どもたちが活き活きと育つための土台を最優先に整えていくことが大切です

地域での取り組み

教育子育て編

まちづくり会社の代表として、民間の立場から教育・子育て支援を進めています

1 子どもの可能性を伸ばす

- **テクノロジー教育**: 親子向けにAIで絵を描くワークショップ、デジタルアートの制作体験を開催
- **国際教育**: 自身も海外留学・駐在経験者として、誰よりも国際教育の重要性を理解



2 すべての子どもの居場所づくり

- **フリースクール支援**: 出張授業をしてくれる“まちの先生”の紹介や、子どもたちが企画・運営する地域のイベント開催を支援



3 地域で育む

- **豊かな自然の学び場**: 田植え・稲刈り体験、農園の中でのプレイパークイベントを開催
- **公教育への支援**: 市内小学校での出張授業(地域を知るワークショップ)や人口ロボットの試験導入を支援
- **地域とつながる場づくり**: “子どもが地域とともに”をコンセプトにしたお祭りへの参画



4 安心して生み育てる環境づくり

- **保護者の方との対話・政策提言**: 自治体アドバイザーの経験を活かし実施

取り組みたいこと

藤代けんごは、まちづくりのプロとして、全国の自治体の先進事例への知見やネットワークを活かし、「教育・子育て世界一」のまちづくりを進めます

1 子どもの可能性を伸ばす

日本で最も進んだテクノロジー教育の提供

- **市内の先進的な ICT 教育校が持つノウハウ**の活用や世界的な **IT 企業との連携**を通じて、どの学校でも進んだテクノロジー教育を提供します。



市内の ICT 教育の先進校：生徒も先生もデジタルツールを活用し主体的な学びを実践

インターナショナルスクール誘致を含む国際教育の推進

- 成田空港に近く世界的な企業が立地する市の立地も生かしながら、語学教育や多文化理解を進めます。**自身も海外留学や駐在を経験したものとして**、インターナショナルスクール誘致を含む国際教育を先頭に立って推進します。



長野県軽井沢市：日本発のインターナショナルスクール ISAK (アイザック)

2 すべての子どもの居場所づくり

大規模校の分離新設を含む学習環境の改善

- 千葉ニュータウン地区を中心に**一部の小中学校では児童数の増加**が顕著、**全国でも大きなマンモス校が誕生**する可能性が指摘されています。大規模校の分離新設をはじめとする子どもたちの学習環境と先生方の職場環境の改善を進めます。

支援学級での人員配置を強化

- 児童数等の増加に伴い**支援学級の受入れ数も増加**傾向にある一方、**現場の先生方や保護者の方の負担が増**えています。人員配置の強化を含む支援策を進めます。

フリースクールなどの多様な学習機会の支援

- 市内の小・中学生にも**不登校児童数が増え続ける**中で、多様な学びの場としてフリースクールの重要性が高まっています。**ボランティアによる運営が中心**の現状から、スクールの持続可能な運営に向けた支援を進めます。
- 子どもたちが、**放課後に最新のテクノロジーを学べる居場所づくり**も検討します。



石川県加賀市：テクノロジー × 子どもの居場所「コンピュータクラブハウス加賀」



東京都：フリースクールを利用する不登校の小中学生を対象に1人あたり年間最大24万円を支給

3 地域で育(はぐく)む

小規模特認校を含む自然豊かな学校での先進的な学習環境づくり

- 全国では**自然豊かな学びの場 × 少人数教育が先進的な教育**として注目。他自治体の先進事例も参考に、豊かな自然を活かし、子どもたちの主体性と感性を育む教育を推進します。
- **スクールバス等の更なる導入**を進め、**全市からの通学利便性**の向上を図ります。



広島県福山市：廃校を活用した公設公営のイェナプラン(※)教育校「常石ともに学園」

(※) オランダで発展した「子どもの主体性」を重視する教育手法



長野県伊那市：豊かな自然の中、時間もチャイムもない、動物を飼育するユニークな教育で知られる「伊那那小学校」

図書館や公民館、市民団体などと連携した地域の学び場づくり

- 図書館や公民館、市民団体などとも連携し、子どもたちの学校外の学びの場、そして、生涯の学びの場づくりを進めます。

4 安心して生み育てる環境づくり

学校給食費無償化 全額公費負担

- 子育て世代の**経済的な負担軽減**を目指し、**全世界を対象**に(家庭の所得や子どもの数に関わらず)給食費の無償化を推進します。

専用バスで各保育園へ! 駅前送迎ステーション

- 通勤時に車で子どもを預けられる「送迎保育ステーション」の整備で、**働くママ・パパの送迎の負担を軽減**します。



千葉県流山市：送迎保育ステーション

全天候型で子どもが過ごせる施設の整備など

- 子育て世代の方々にとって、**子どもが安心して遊べる・過ごせる場所**の存在は貴重です。また、他自治体では、**障がいのある子どもが遊べる遊具があり、多様な子どもを分断せず受容れる公園「インクルーシブ公園」**の整備も進んでいます。全天候型で全ての子どもが過ごせる施設の整備を進めます。



山形県山形市：すべての子どもたちが楽しめる全天候型の児童遊戯施設「コパル」

学童不足の解消

- 児童数の増加などにより、**一部地域で学童が不足**。学童の新設や放課後教室等の代わりとなる制度・仕組みの導入を進めます。

子育ての不安軽減をサポート

- 子育ての不安軽減に向け、保護者の方への行政側から必要な方にアプローチする**プッシュ型での必要な情報のご連絡、親同士つながりづくり**で、困った時にひとりで悩まない体制を整えます。

藤代けんごってどんな人?のご質問に答えます!

藤代けんごってどんな人なの?とよく質問を頂くので、少しだけ藤代けんごをご紹介します。

印西生まれ、育ち 先祖代々この地に

藤代家は代々この地で農業を営みながら地域への貢献を生きがいとしてきました。先人の想いを受け継ぎながら、この地域をより魅力的に次の世代へと繋ぐため、誰よりも本気でまちづくりに取り組みます。



瀬戸幼稚園～六合小学校



印旛中学校

- 1ヶ月のアメリカ留学
- 学級委員長、生徒会長を務める
- 多世代の地域の方に育てられる

世界から見た日本への危機感。世界にはばたく日本企業の推進力になりたい!

早稲田大学時代

- 政治経済学部所属
- ワシントンD.C.交換留学
- サークルで国際関係学を学ぶ
- インターン先は「国会議員事務所」と、最先端「ベンチャー企業」

リーダーシップ、グローバル視点に目覚める!

1984

印西市山田出身

- 印旛沼の恵み豊かな里山で育つ
- 父:印西町・市職員(兼業農家)、母:看護師、弟:3歳下
- 祖母:一番の理解者
- 祖父:地域の議員。亡くなる前日まで地域のために活動



次世代に残したい雄大な自然が原風景

真の政治家 祖父を尊敬

1991

1997



お母さんに聞きました

Q 幼少期はどんなお子さんでしたか?

何事もコツコツとやるタイプで、あまり手がかからない子でした。おばあちゃんっ子で、よく遊んでもらっていましたね。真面目で一本気な性格ですが、「人のために尽くす」という藤代家の家訓をしっかり受け継いでもらいたいです。

2000

千葉県立佐倉高校

- バスケ部所属。様々なご縁で現在印西市バスケットボール協会理事を拝命
- 公の仕事に関わる祖父、父の姿を改めて意識

留学など多くの経験を積む

2003

地域を基盤にした政治・経済の世界を志す

まちづくりのスペシャリストへ

2009

世界で戦う日本企業を導く、ビジョンと戦略を学ぶ

国際協力銀行(うち15-17年に香港駐在)

- 政府系の銀行勤務。世界へ進出する日本企業の資金調達をサポート
- 香港駐在を経験
- 鉄道などのインフラ輸出を担当
- 海外のまちづくりを通して官民連携によるまちづくり手法を学ぶ



引用元:JBIC

2018

ボストン・コンサルティング 組織改革の現場で、リーダーシップを磨く

- 経営コンサルタントとして従事
- 保険・金融・通信業界担当
- 新規事業戦略、デジタル化支援、人事など組織改革に奮闘



改革への反発を、現場への寄り添い力対話力で突破!

2021

青山社中(執行役員)

政策立案支援の現場で理想のまちづくりへ向け試行錯誤

- 国や自治体の行政アドバイザー、政党・議員の政策立案に従事
- 日本各地の自治体で暮らす人々の想いを活かしたまちづくりに奔走
- 対話によるまちづくりを実践。可能性を感じる



人の想いと力を活かすまちづくりがカギ!



2022

地元でのまちづくり活動

人が起点のまちづくりを、地元印西で

- NTや印旛地区のお祭り企画・運営、教育・子育て支援、里山保全、スポーツ振興、起業・創業支援、木下駅前活性化等に民間として参画
- (一社)地方自治マネジメントプラットフォーム理事。「首長(市町村長)の学校・予備校」を運営
- 市内外の参加者累計500名!まちづくりイベントを開催

世界での学び・実践を経て、「印西を次世代につなぐ」まちづくりをリードしたいと一念発起



藤代けんごの活動はウェブでも発信中!

藤代けんご後援会

〒270-1604 千葉県印西市山田2808-2

TEL.090-1400-8885

FAX.0476-98-0542

info@fujishiro-kengo.com



fujishiro-kengo.com

藤代けんご



藤代けんごとともに考え、多くの活動を通して、笑顔で楽しいまちづくりを進めてくれる仲間を募集しています。